

愛知県議会議員

— 自民党 2 期 —

神谷 和利



自民党県議団の「私学振興議員連盟」では、私学の教職員・保護者と懇談をする機会があり、昨年十二月には杜若高校の校長から次のような陳情がありました。「夏季の体育館は命に関わる危険な暑さ

昭和 36 年 1 月 2 日生まれ。豊田市柿本町 3-34。愛知県議会福祉医療委員会委員長。同カーボンニュートラル調査特別委員会委員。自民党愛知県第 11 選挙区副支部長。元豊田市議会議長。愛知県森林協会副会長。豊田市少林寺拳法協会会長。ボーイスカウト豊田地区副協議会長。

LPガスエアコンは電源不要

「これを受け議員連盟する覚悟である」。

が強く知事に要望した結果、私立学校の体育館等における空調設備ライフライン寸断でも快適な空調環境を提供が県の補助対象に追加

急速に進み、公共施設の地域体育館にも波及することを望みます。体育館等の空調設備は、通常時の熱中症対策だけでなく、大規模災害時の避難所としても必要不可欠な機能です。災害時であっても

フラインが寸断された状況でも、LPガスを利用するガスヒートポンプエアコンであれば電源を必要とせず、快適な空調環境を提供できます。また、ガスエンジンによる発電を非常電源として使用することができます。

6 年度から 4 年間で空調設備を順次設置することとなりました。豊田市中においても小中学校体育館の空調整備が当初予算に計上された

同様に空調設備が利用できることは、避難所として大前提です。そこで注目されているのが LP ガスです。

経年劣化のない LP ガスは、長期にわたる保管が可能です。炊飯入浴時の燃料として利用できることも、LP ガスならではの大きなメリットです。

災害時に強い LP ガス仕様のエアコンの導入が全国の避難所などで進みつつあります。